

子育てに協力的で、
楽しい街



自然がたくさんある
楽しい いっぱい遊べる



みんなあいさつができる
梨がおいしい



子どもが主役のやさシティ、 まつどの暮らしガイドブック

お祭りがたくさんある



みんなの 「いいね!」が そだつ街。

松戸市で暮らしている人、松戸市に遊びに来てくれた人、みんなが感じている松戸市の魅力とは? たくさんの「いいね!」が寄せられました。

リサイクル活動を頑張っている
自然が豊か



遊ぶところがいっぱい
電車がいっぱい走っている



みんな協力しあっている
ルールがある



学校が楽しい
平和だ



まつど DE 子育て

松戸市子育て情報サイト
まつど DE 子育て



松戸市の子育てに関するさまざまな情報や取り組み・魅力などを発信しています。子育て支援、保育園や幼稚園等の情報、施設やイベントの情報などが充実! ママ&パパの強い味方です。



松戸市シティプロモーション推進事業
まつどやさしい
暮らしラボ



松戸市に愛着のある人たちと松戸市役所が一緒になって松戸市の魅力を見つけて発信するプロジェクトチームです。



松戸市

発行: 2019年3月
松戸市 子ども部 子ども政策課
〒271-8588
千葉県松戸市根本387番地の5
電話 / 047-704-4007 (直通)

やさしい心がそだつ街、まつど。

子どもはひとの笑顔が大好きです。とくに、パパとママの笑顔はいちばんの心の栄養。たっぷり栄養をもらおうとやさしい心が育ちます。松戸市の子どもたちに、やさしい心をもったひとになってほしい。そんな想いから、笑顔で子育てできる環境づくりに取り組んでいます。パパとママの心のゆとりが、笑顔のもとになっていくと思うから。松戸市は、これからも全力で子育てをサポートしていきます。

子育てにやさしい

P4・P6へ

子ども、パパも、ママも、思わず笑顔に!! 「やさシティ、まつど。」なら子どもが元気に育っていきます。

共働き子育てしやすい街 ランキング



※2017年度日経DUAL調査。全国編は東京を除く自治体のランキング結果

住みやすさ 82%

※2017年度実施の市民意識調査における「住みやすさについて“大変住みやすい”“住みやすい”と回答した人の割合」

小児医療の充実

「夜間小児急病センター」では、毎日23時まで診察可能。地域の中核をなす「松戸市立総合医療センター」も近くて便利

4年連続 待機児童 0

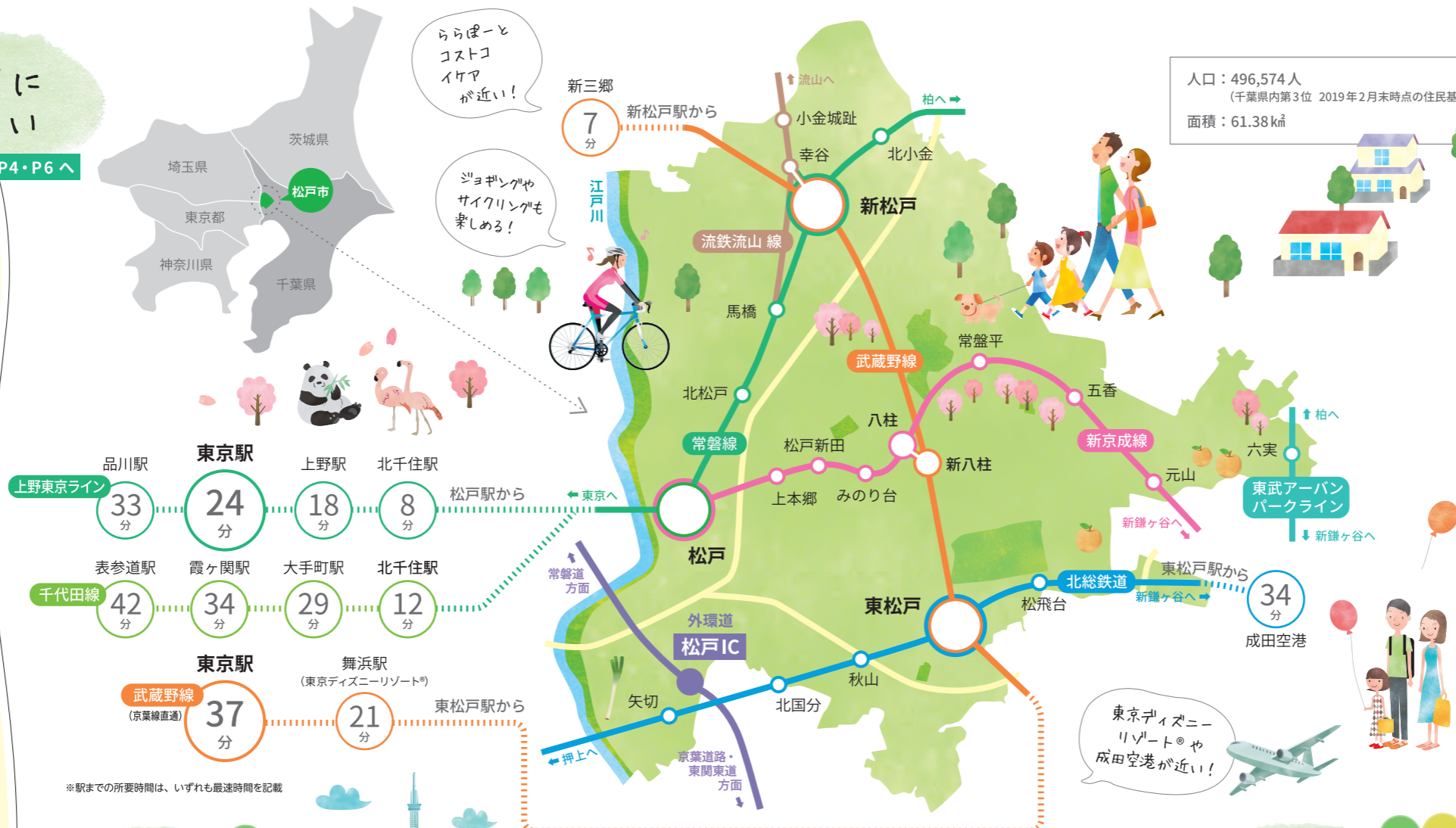
※1 2016年~2019年の各年4月1日時点(国基準)
※2 保育園等の受け入れ状況は、希望施設や希望月によって異なります。

三世同居等住宅取得支援 最大100万円 補助します!



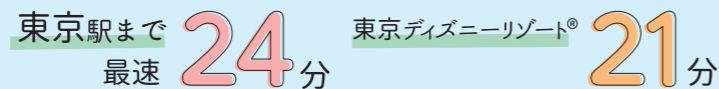
子育て世帯が市内に住む親世帯と同居又は近居する際の住宅取得費用の一部を補助します。

※申請にあたっては住宅取得に関する契約を締結する前に松戸市に事前相談書を提出していただく必要があります(その他諸条件あり)



通勤にやさしい

乗り換えなしで東京駅まで24分、大手町駅まで29分。東京都に隣接する松戸市は、おでかけをするのも近くて便利。



※松戸駅から平日・日中における最速の所要時間 ※東松戸駅から舞浜駅までの最速の所要時間。駅からの移動時間は含まれません。

おでかけにもやさしい

暮らしにやさしい

都心近くで広びるマイホームを

松戸市と同じ、東京駅まで30分圏内^{※1}の他の都市と比較すると、住宅地でこの価格差! 発展中の松戸市に住むなら、今がチャンス!?

住宅地の平均価格 (150㎡換算)^{※2}

市町村	平均価格
松戸市	2,025万円
市川市	3,171万円
横浜市西区	4,208万円
杉並区	7,829万円

※1 松戸市は松戸駅、杉並区は荻窪駅、横浜市西区は横浜駅、市川市は本八幡駅における東京駅からの所要時間
※2 本データは国土交通省地価公示価格「東京圏の市区の住宅地の平均価格等」(平成31年)を基に、地方自治体を単位として150㎡の土地価格として算出したもの。
※3 地形、道路などの要件により、土地価格は変動します。



すべてがやさしい

教育

10年間のまつど英語も実施

「勉強も、スポーツも、部活も、頑張りたい!」そんな子どもの願いにこたえる教育環境が松戸市にはそろっています。

P6・P8へ

自然

東京ドーム11個分の広大な遊び場

泥だらけになって思いっきり遊べる広大な公園が身近に。四季の変化を感じられる自然環境が子どもの成長を見守ります。

P10へ

文化と絆

アートなスポット・イベント

人と人の絆やつながりが強い松戸市には、昔ながらの歴史や伝統を大切にしながら、新しい文化・芸術を生み出していく力と環境があります。

P12へ

街の発展

子どもが活躍する未来のまつど

「住みたい、住み続けたい街」を目指して、暮らしやすく、楽しい街へと、松戸市はこれからも変わり続けていきます。

P14へ

すこやかに そだつ街。

子どもが主役の「やさシティ、まつど。」は、子どもがすこやかにそだつ街。ママとパパの不安にも寄り添い、地域のやさしさとつながれる環境で、子どももママもパパも楽しく子育てをスタートできます。



おやこDE 広場と子育て支援センター

0歳からおおむね3歳までの子どもが保護者と一緒に利用できる室内の遊び場が市内に25か所あります。写真の「ほっとるーむ 東松戸」は、多い日には1日約100組の親子が訪れる人気のスポット。絵本やおもちゃがいっぱいで、イベントや講座などの企画も充実し、子どももママもパパもものびのび過ごすことができる憩いの場所です。

健診や予防接種の充実



乳児健診は、3～4か月、6～7か月、9～10か月と3回実施。他市では事例の少ないロタウイルスとおたふくかぜの任意予防接種の費用を一部助成するなど、子どもの健康を守る健康診断や予防接種を充実させています。

23時まで診療！ 夜間 小児急病センター



毎日18時～23時まで、中学3年生までを対象に初期内科系疾患の受診が可能です。市内の小児科医や小児の診察に慣れた医師が対応し、その場で薬も処方されるので、急な発熱でも慌てずに済みます。

松戸市版 幼児家庭教育 パンフレット



脳科学者 東北大学川島教授監修のもと、松戸市独自に作成した幼児家庭教育パンフレットを配布しています。乳幼児期の子どもにとって大切な親子のコミュニケーションや睡眠、食事について詳しく紹介しています。

すぐに悩みに答えてくれる 子育てコーディネーター

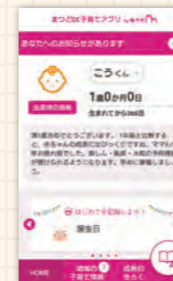
支援者の声

「おやこDE広場・子育て支援センター」などの乳幼児とその保護者のための広場は、地域の親子の輪がつながり広がる場だと思っています。子どもをのびのび遊ばせられるので、ママやパパも自然に交流を楽しんでいます。新米ママ・パパの悩みは尽きませんが、先輩ママ・パパや子育てコーディネーターと会話することで、帰るころには心も軽やかに笑顔があふれています。最近はパパの来場者も増えているので、子どもやママはもちろん、パパにとっても居心地がよい空間づくりを心がけています。

情報発信の強化

まつど DE 子育てアプリやLINEで子育てを応援！

保護者の不安にできるかぎり寄り添えるように、煩雑な予防接種の管理を自動でスケジュールするアプリや、小児科医などが監修したメッセージを配信するLINEの提供など、情報発信に力を入れています。

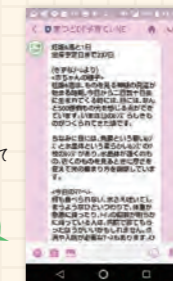


まつどDE子育て
アプリ

母子モ

まつどDE子育て
LINE

まつ育
LINE



たくましく そだつ街。

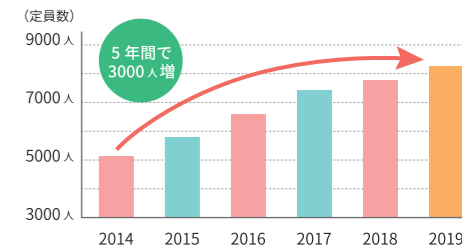
保育園や幼稚園は子どもにとって初めての集団生活。松戸市では、子どもが楽しく過ごせる保育環境が充実。さらに保護者のライフスタイルに応じて、さまざまな保育のカタチを用意しています。



楽しい英語あそび

市立保育所の特徴ある保育として、全17か所で5歳児を対象にネイティブ講師と一緒に英語であそぶ活動を月に1回実施。歌やゲームを通じて楽しみながら自然と英語や異文化に親しみ、小学1年生からの英語教育につなげていきます。市立保育所で一斉に英語あそびの活動を取り入れているのは、人口30万人以上の自治体では、全国初の取り組みです。

保育の受け皿 積極的に拡大



松戸市は、2014年～2019年の5年間で保育施設の利用定員数を約3,000人増やしています。0～2歳児の受け入れを行う小規模保育施設を積極的に整備しており、その数も2019年4月時点で千葉県内1位となっています。

利用支援 コンシェルジュ



子どもを預けようとしても保育施設の選択肢は多くて複雑。そこで、利用支援コンシェルジュが保育園等に関するさまざまなお悩みにこたえ、最適なサービスをご案内しています。



松戸市には私立幼稚園が37園もあり、それぞれの方針に基づいて特色ある教育を行っています。広い園庭があり、多くの子どもと一緒に遊び、学んでいます。この時期に思いっきり遊ぶことは、その後の学びや創造性につながります。
また、松戸市には幼稚園の預かり保育を行っている幼稚園が充実しています。「働いていても幼稚園の教育を受けさせたい」「地域のお友達と同じ幼稚園に通わせたい」など、保護者にも子どもにも寄り添う環境になっています。

幼稚園での 教育の充実

幼稚園内で取り組んでいる活動例

工作
あそび

英語
あそび
ABC

体育
指導

音楽
絵画

自然
体験

書道
茶道

保護者の送迎を手助け

- 市内全23駅の駅前・駅ナカに保育施設を整備
- 送迎保育ステーションの導入



松戸駅と新松戸駅の近くに「送迎保育ステーション」を開設。子どもを預かり、指定の保育園や幼稚園まで送迎しているので、通勤時の送り迎えが便利です。

困ったときの 病児・病後児保育



松戸市には、生後57日から小学生を対象にした病児・病後児保育室が4か所あります。子どもが病気や病気の回復期で集団保育や家庭での保育が難しい場合でも安心です。

かしこく そだつ街。

子どもの成長とともに気になってくるのが教育環境。松戸市では、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指し、独自の教科「言語活用科」やキャリア教育などに取り組んでいます。



小学校の英語の授業

他市に先駆けて英語教育に力を入れてきた松戸市。2016年度から、小学1年生以上の英語学習の環境を整えてきました。2020年度からは履修学年を拡大し、小学1年生から中学3年生までの9年間、松戸市ならではの小中一貫カリキュラム「言語活用科」を通じて、豊かな英語力や表現力、論理的思考力を培います。

5つの中学校吹奏楽部が 最高位を受賞！



市内の中学校では吹奏楽がとても盛んで、全日本吹奏楽コンクールや日本管楽合奏コンテストなどの全国大会に毎年進出しています。2018年度は市内5つの中学校が金賞及び最優秀賞を受賞しました。

小学校の 放課後も安心



全45の市立小学校区に放課後児童クラブを完備し、小学1年生から6年生までと一緒に遊びながらのびのびとした生活を送っています。図書室等で勉強する放課後KIDSルームの開校も増やしています。

ロボカップジュニア 2017世界大会



市内中学校科学部は、世界的なロボット競技、「ロボカップジュニア2017世界大会」に出場し、発想性や芸術性が問われるオンステージ部門で、世界1位となる「ベストステージパフォーマンス賞」を受賞しました。



中高生と 赤ちゃんの ふれあい 体験

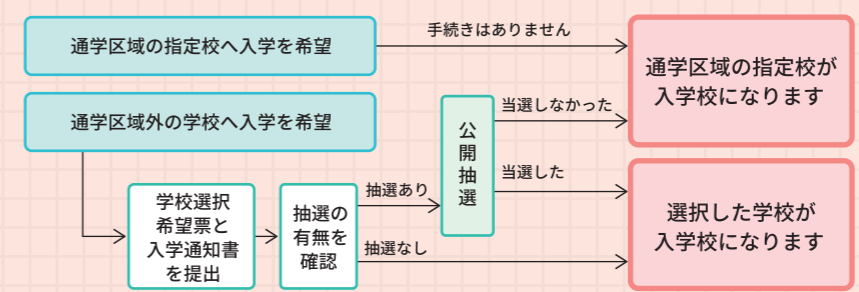
中高生が乳幼児の親子と直接ふれあう機会を持つことで、命の大切さや愛おしさ、子育ての楽しさや大変さを学びます。



夢の教室

市立小学校全校で「夢の教室」を実施。現役、OB・OGのスポーツ選手などから夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを学びます。

学校選択制



松戸市では、指定校の学区に隣接する学校で安全に徒歩通学できる範囲まで、入学したい小・中学校が選択可能。各小・中学校では特色ある教育が行われているため、子どもにあった教育環境を選べます。

緑とともに そだつ街。

松戸市は、都心近くに位置しながら、広大な自然がいっぱいの公園や森がたくさん。花を愛でたり、散歩したり、広場で泥だらけになって思いっきり遊んだり、四季の変化も身近に感じられます。



21世紀の森と広場

松戸市の中央部に位置し、東京ドーム11個分（約50.5ha）の広さを持つ緑あふれる公園。まわりを林に囲まれた芝生広場や、生き物の生息する池のほか、小川の水辺、田畑の広がる農村風景、林の中の散歩路に、バーベキュー場など、家族全員で一日中めいっぱい遊べるスポットです。四季折々の自然を体感できるイベントも多数開催されています。

日本の道100選 常盤平さくら通り



桜並木が約3kmにわたって続く「常盤平さくら通り」をはじめ、新・日本街路樹100景に選ばれた緑が美しい「常盤平けやき通り」もあり、通りを歩くだけで緑や季節の花を楽しむことができます。

日本の音風景100選 矢切の渡し



都内に唯一残る、柴又の渡し場と手こぎの舟でつなぐ「矢切の渡し」。日本一の高さを誇る東京スカイツリーと下町情緒溢れる江戸川の景色が融合する絶景ポイントとなっています。

二十世紀梨の発祥の地



実は、二十世紀梨の発祥地は松戸市。明治21年に発見されました。市内には50以上の観光梨園があり、毎年8月上旬～10月上旬にはたわわに実った梨もぎを楽しむファミリーでにぎわいます。

森の こども館



21世紀の森と広場で、自然を感じながら、スタッフのサポートで葉っぱや木の実で自由に工作したり、自然の中で遊びを発見・発明したりします。

オープン フォレスト in 松戸



里やまボランティア活動が行われている民有地の森で、子ども達が遊べる工夫をして公開するイベントを毎年春に開催。森のハンモック遊びなどが体験できます。

親子の 自然・農業体験が充実

市内のこどもの遊び場を「農園こどもの遊び場」として、親子で松戸市名産の「矢切ねぎ」を育てる体験ができます。初夏に植え付け、秋に土寄せ、冬に収穫の体験を行います。



文化と絆が そだつ街。

下町情緒が残り、人と人の絆やつながりが感じられる松戸市だからこそ、昔ながらの歴史や伝統を大切にしながら、新しい文化・芸術を生み出していく力と環境があります。



アートパーク

聖徳大学、聖徳大学短期大学部、千葉大学、松戸市内の団体、松戸市役所などが連携して毎年夏に開催しているアートプロジェクト。松戸中央公園を舞台に、大学と地域の保育園や子育てサポートNPOなどの協力で、普段は体験できない外遊び、絵の具やダンボールなどを使った作品作りなど、参加型の楽しい企画が目白押し。絵の具だらけになっておもしろい遊びます。

ママがつながる NPO法人MamaCan



子育てはキャリアだ！をコンセプトに「イベントの開催、育児情報誌の発行、相談事業」などを行い、ママに寄り添う場・活躍の場・情報発信を通じて、つながりあう地域づくりを目指して活動しています。

地域がつながる！ 子どもの見守り活動



「子どもの未来は地域で守る」を合言葉に、地域住民のボランティアがつながり、登下校中の子どもたちを地域の目で見守ることで、安全で安心できる地域づくりに取り組んでいます。

支援者がつながる 松戸子育てフェスティバル



10年以上続く、子育て支援に関わる市内の団体と市役所がつながり子育て家族を応援するイベント。ハイハイレースやおもちゃ遊びのコーナーだけでなく、子育ての情報発信や相談コーナーも充実。

PARADISE AIR (パラダイスエア)

アーティスト・イン・レジデンス
PARADISE AIRは、国内外のアーティストを受け入れ、松戸市での滞在制作を支援しています。
かつて文人画人が宿泊料代わりに作品を残したという松戸宿の歴史と伝統をふまえた「一宿一芸」をコンセプトに、アーティストと子どもを含む松戸市民との新たな交流を生み出しています。

家族の絆がそだつ街

子育て支援 PR 動画「世界一の感謝状」

「家族の笑顔が、子どもにとって一番の心の栄養である」という思いを込めて制作した子育て支援PR動画。松戸市在住の4組の子育て家族が出演し、松戸市の魅力「住む人のやさしさ」「家族の温かさ」がストレートに伝わる動画になっています。



未来に 向かって そだつ街。

「住みたい、住み続けたい街」を目指して、暮らしやすく、楽しい街へと、松戸市はこれからも変わり続けていきます。

Highway

松戸IC 開通



2018年6月、外環道 松戸インターチェンジが開通。市内の駅と羽田空港を繋ぐ高速バスが運行開始されるなど、湾岸エリア・関東各地へのアクセスがますます便利になりました。

Barrier-free

松戸駅 駅前広場



松戸市の玄関口「松戸駅」。デッキの改修工事を進めるなど、利便性を向上しています。今後も安全で安心な利用のために駅前広場の整備を推進していきます。

Civic Center

市民交流会館

「すまいる」



2016年8月、新松戸地区に市民交流会館が開館。子どもから高齢者の方まで気軽に立ち寄り楽しめる複合施設。スポーツや防災など季節ごとのイベントも多数開催しています。

School

新設小学校 開校



2016年4月、東部地域の核として発展してきた東松戸地区に、市内では29年ぶりとなる新設小学校が開校。また市内全小・中学校へのエアコン設置など教育環境を整備しています。

Railroad

上野東京ラインの開業



2015年3月、JR常磐線が東京駅・品川駅まで直通運転する「上野東京ライン」が開業しました。最速で東京駅まで24分、品川駅まで33分と乗り換えなしでアクセス可能に。

Hospital

松戸市立総合医療センター



2017年12月、松戸市立病院が松戸市立総合医療センターと改称して移転・開院。屋上にはヘリポートを設置し、さらに広範囲から重症度の高い小児患者も迅速に搬送可能となり、千葉県北西部の中核病院として地域の医療を支えています。

Shopping Mall

大規模商業施設 OPEN



2019年秋に、松戸市近辺では最大級の大型ショッピングセンター「(仮称)テラスモール松戸」が松戸北部市場跡地に開業予定。毎日の暮らしがもっと豊かで便利に変わります！

Nature Park

21世紀の森と広場



2016年から、21世紀の森と広場で開催するさまざまな大型イベントを「松戸モリヒロフェスタ」と総称して展開しています。公園の魅力向上に向けた協議も行っています。